

令和3年度 授業改善推進プラン

武蔵村山市立第一中学校

学校全体で取り組む共通事項		<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字・計算などの習熟、反復、個別の状況を把握する時間を確保。 ○ 夏季休業中の補習教室による基礎学習の定着。 ○ 家庭学習の充実を目指し、家庭と連携。 		
教科	① 生徒の実態・課題	② 授業改善の取組	③ 取組結果	
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の履修も含め、漢字の定着ができていない。 ・自分の考えを正しく文章にして書くことが苦手な生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字練習の宿題に取り組ませ、小学校の復習も定期的に取り入れる。 ・200字作文を繰り返し書くことで、正しい書き方を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字練習の習慣が付き、基礎学力を少しずつ身に付けている。 ・作文課題に意欲的に取り組む生徒が増え、書くことへの抵抗感がなくなった。 	
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・正負の数や文字式の四則演算が定着していないなど、基礎・基本の定着が課題である。 ・証明や文章題などへの苦手意識が強く、記述問題になかなか取り組むことのできない生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京ベーシックドリルや、教科書の問題に加えて演習プリントを取り入れる。 ・既習事項を確認しながら、穴埋めから記述へスモールステップで進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計算問題は繰り返し演習を行うことで、少しずつ計算スピード、正答率が向上してきている。 ・証明問題を穴埋めからスモールステップで進めることで、自信をもって問題に取り組む生徒が増えた。 	
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ・ここ数年の新体力テストの数値を確認すると、「ハンドボール投げ」と「持久走」の値が都平均、全国平均を下回っている。 ・自宅で過ごすことが多く、運動時間が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年で準備運動の中に、「コオディネーショントレーニング」や「600m走」を取り入れる。 ・説明を最小限にし、運動時間の確保に努めながら、授業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニングにより、新体力テストの項目での向上が見られた。また、持久走で都平均、全国平均を上回る学年も出てきている。 ・授業確保を意識し、運動時間を増やした。また、授業外で課題を出し、宿題のチェックを行った。 	

令和3年度 授業改善推進プラン（特別支援学級）

武蔵村山市立第一中学校（1組）

学級全体で取り組む共通事項			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 個々の課題を把握した個別指導計画。 ○ 国語、数学は課題別に分けたグループ学習での指導の充実。 ○ 宿題や期末考査による基礎学習の向上と確認。 ○ 家庭と連携し、家庭学習の定着を目指す。 			
教科	① 学級の実態・課題	② 授業改善の取組	③ 取組結果
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・人にわかるように伝えることが苦手である。 ・作文では助詞や拗音、促音の表記にミスがある。 ・同音異義語の理解が困難である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「いつ」「どこで」「だれと」「何をした」を省かずに話す練習をさせる。 ・確認し、訂正させる。 ・漢字の持つ意味と、熟語の意味を考えられるように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人に日常の出来事を話すことができるようになった。 ・今後も継続した指導が必要である。 ・辞書で調べて意味を確認することができるようになった。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り上がり、繰り下がりの計算が定着しない。 ・乗除の意味が理解できない。 ・単位が理解できない。 ・金銭、時間の概念の理解が不十分。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タイルなどの半具体物を用いて、位取りの仕組みを視覚的にわかるようにする。 ・文章題を図で表記し、かける、わる意味がわかりやすくなるように工夫する。 ・単位換算表を用いて、覚えられるようにする。 ・お金や時計の具体物を用いて、実際に数えたり、動かしたりしながら理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地道な取り組みで繰り上がり、繰り下がりが理解できた。 ・自分で文章題を作成する取り組みは、今後も必要である。 ・単位については、実際に測りながら確認する必要がある。 ・何度も確認し、お金や時計を操作しながら学習を積み上げることができた。
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に体力が低い傾向にある。 ・勝敗へのこだわりから、仲間の気持ちを理解しようとせず、つい仲間を責めてしまうことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の導入として5分完走や筋力トレーニング、跳躍などの補強運動を取り入れ、体力の向上を図る。 ・仲間の頑張りや失敗してしまった時の気持ちを考えさせたたり、道徳などと結び付け、教科横断的な視点をもって取り組んだりすることで、実態の改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体力が向上した。今後も継続した取り組みが必要である。 ・ルールを守りながら、仲間と楽しく競技することができるようになってきている。今後も継続した指導が必要である。